

付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報

平成28年12月15日～21日に陸奥湾5定点で付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

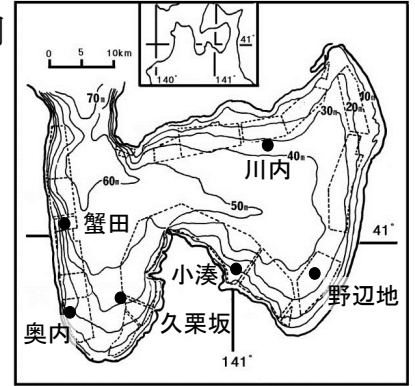


図1 ラーバ調査地点

1 ラーバ等の出現数

(1) ユウレイボヤ

ラーバが久栗坂沖で0.6個/トン見られました(表1、図2)。

(2) ムラサキイガイ

ラーバは、蟹田沖で6.9個/トン、奥内沖で140.8個/トン、久栗坂沖で7.8個/トン、野辺地沖で108.6個/トン、川内沖で62.5個/トン出現しました(表1、図3)。

(3) キヌマトイガイ(コメガキ)

ラーバが川内沖で3.9個/トン見られました。

(4) その他

ザラボヤのラーバが久栗坂沖で0.6個/トン、野辺地沖で0.8個/トン、川内沖で1.6個/トン見られましたが、オベリア類(クサ)のクラゲは見られませんでした(表1)。

表1 ラーバ等の出現数

調査地点	調査月日	単位:個/トン			
		ユウレイボヤ	ザラボヤ	オベリア類	ムラサキイガイ
蟹田沖	H28.12.21	0.0	0.0	0.0	6.9
奥内沖	H28.12.15	0.0	0.0	0.0	140.8
久栗坂沖	H28.12.20	0.6	0.6	0.0	7.8
野辺地沖	H28.12.16	0.0	0.8	0.0	108.6
川内沖	H28.12.20	0.0	1.6	0.0	62.5

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

2 水温の状況

各ブイ中層の12月26日の日平均水温は、表2のとおり、西湾では10～11℃台、東湾では7～9℃台です。

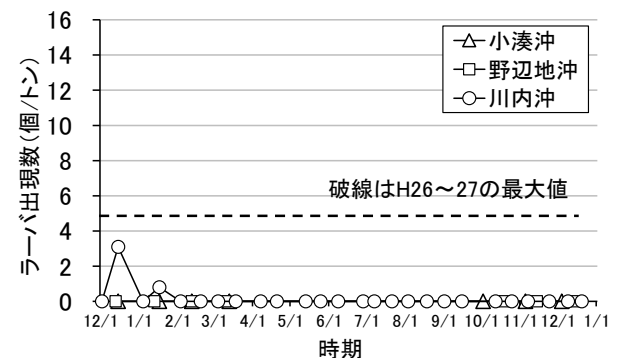
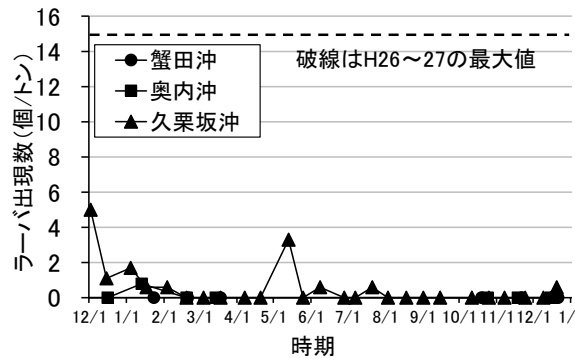


図2 ユウレイボヤラーバ出現数の推移(平成27年12月～平成28年12月)

3 今後の見込み

(1) ユウレイボヤ

例年のラーバの出現ピークは11～12月です。久栗坂沖でラーバが見られましたが、わずかであるため分散済みの籠への今秋の付着は少ないと思われる。

(2) ムラサキイガイ

蟹田沖と久栗坂沖ではラーバの出現

が終息しましたが、他の定点ではラーバが増加しているため、掃除した耳吊りや入れ替えした籠へ付着するものと思われる。

(3) キヌマトイガイ(コメガキ)

ラーバの出現が昨年より早いため、籠や掃除した耳吊り、マボヤ採苗器への付着が早まる可能性があります。

(4) その他

オベリア類(クサ)の付着は年明けになるものと思われる。

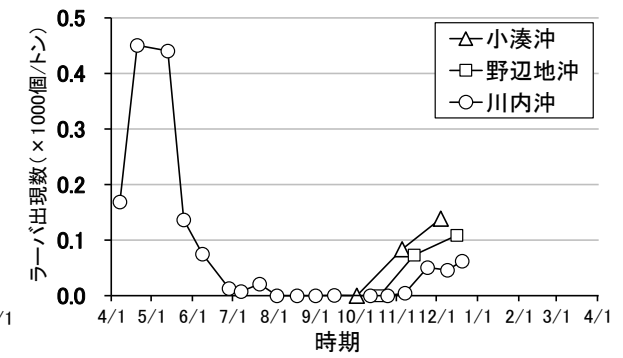
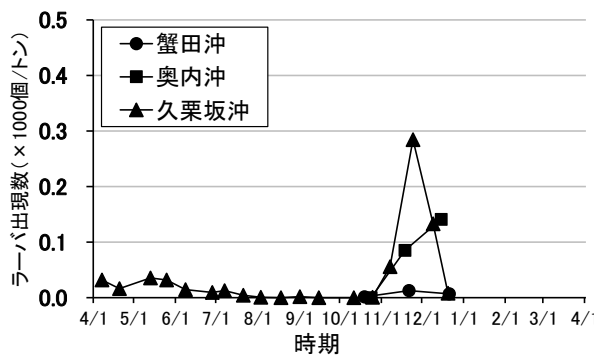


図3 ムラサキイガイラーバ出現数の推移(平成28年4月～12月)

表2 各ブイ中層の日平均水温

西湾観測地点	水温(℃)	東湾観測地点	水温(℃)
平館ブイ	11.6	東田沢ブイ	9.5
蓬田ブイ	11.4	野辺地ブイ	8.5
奥内ブイ	10.3	横浜ブイ	7.5
青森ブイ	10.4	浜奥内ブイ	7.0
浦田ブイ	欠測	川内ブイ	7.9
		東湾ブイ	8.5

※平館、青森、東湾は15m層、それ以外は10m層

発行元: 地方独立行政法人
青森県産業技術センター 水産総合研究所
住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL: <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>

ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード(①)
海ナビ@あもり 全モバイル端末共用QRコード(②)

